

## 2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程： 工業専門課程

学科： 高度情報システム科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
80	データベース設計演習	4	60	3	必修	実習	有
81	CCNA X	4	30	2	必修	講義	無
82	AI基礎 II	4	60	4	必修	講義	有
83	Windowsサーバ構築	4	60	3	必修	実習	有
84	AWS演習	4	60	3	必修	講義	有
85	Web詳論	4	30	2	必修	講義	有
86	ロボット制御 I	4	60	3	必修	実習	有
87	ロボット制御 II	4	60	3	必修	実習	有
88	プロジェクトマネジメント I	4	30	2	必修	講義	有
89	プロジェクトマネジメント II	4	30	2	必修	講義	有
90	卒業研究 I II	4	120	8	必修	実習	無
91	卒業研究 III IV	4	120	8	必修	実習	無
92	高度国試対策 I	4	30	2	必修	講義	有
93	高度国試対策 II	4	30	2	必修	講義	無
94	体育実習 IV	4	30	2	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	データベース設計演習		龔 恵美子	有	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
関係データベースの設計手順を理解し、システムの機能要件をもとにデータベースの設計が行えるようになる。また、設計内容をER図とデータベース設計仕様書に過不足なく記載できることを目標とする。							
<b>【講義概要】</b>							
ヘアサロンの予約管理を題材に、講師が提示した機能要件に沿って、DBの概念設計、論理設計、物理設計を行う。設計結果はER図とデータベース設計仕様書に記載し、設計結果からDBを構築する(XAMPPを利用)。構築したDBが実際にヘアサロン予約管理として機能するかサンプルプログラム(PHP)を用いて確認し、DB設計の大切さをより深く理解する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (トップダウン)					
2	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (ボトムアップ)					
3	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (ER図と多重度)					
4	ヘアサロン予約管理DB	論理設計 (正規化)					
5	ヘアサロン予約管理DB	物理設計 (テーブル設計書、DDL)					
6	ヘアサロン予約管理DB	DB構築 (MySQL)					
7	まとめ						
8	ヘアサロン予約管理DB	DB利用 (DML、サンプルプログラムによるDB利用)					
9	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 概念設計					
10	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 論理設計					
11	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 物理設計					
12	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 DB構築					
13	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 DB利用					
14	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 設計内容発表					
15	総まとめ						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える						
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
スッキリわかるSQL入門(株式会社フレアリンク)							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	CCNA X		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける																					
<b>【講義概要】</b>																					
実践的な問題演習を通して、資格試験範囲の振り返りを行う																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	問題演習と解説（スイッチの基本設定とVLAN）																				
2	問題演習と解説（スイッチの基本設定とVLAN）																				
3	問題演習と解説（STP）																				
4	問題演習と解説（STP）																				
5	問題演習と解説（EtherChannel）																				
6	問題演習と解説（EtherChannel）																				
7	中間試験																				
8	問題演習と解説（IPv6）																				
9	問題演習と解説（IPv6）																				
10	問題演習と解説（HSRP、QoS、SNMP）																				
11	問題演習と解説（HSRP、QoS、SNMP）																				
12	問題演習と解説（システムログ、CDP、LLDP、ISOの管理）																				
13	問題演習と解説（システムログ、CDP、LLDP、ISOの管理）																				
14	問題演習と解説（セキュリティ機能）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 定期テストの結果のみで評価する。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」 Impress「Cisco CCNA問題集」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AI基礎Ⅱ	吉田 雅裕	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。

Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。

## 【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	Pythonプログラミング
3	データ収集
4	データ前処理
5	確率統計
6	統計的検定
7	A/Bテスト
8	アルゴリズム
9	回帰
10	分類
11	クラスタリング
12	レコメンド
13	時系列分析、自然言語処理
14	画像分析
15	データ分析コンペ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

## 【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

## 【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Windowsサーバ構築		太田 和也	有	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。							
<b>【講義概要】</b>							
Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	仮想マシンについて、サーバの役割と構成						
2	Windowsサーバのインストールと初期設定						
3	ネットワークの設定（NAT、ホストオンリー、ブリッジ）、DNS						
4	Active Directoryの構築と設定、ユーザとグループとOU						
5	ドメイン参加とローカルアカウント、ドメインアカウントの違い						
6	グループポリシーの設定1						
7	グループポリシーの設定2						
8	ファイルサーバの設定1						
9	ファイルサーバの設定2						
10	ディスクの管理、バックアップ						
11	セキュリティ周りの設定						
12	サーバリプレイス（Active Directoryの移行）						
13	実技試験						
14	総合演習1						
15	総合演習2						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
授業中に配布するプリント							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	AWS演習		松田 将典	有	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
クラウドコンピューティングで利用されるAWSについて、基礎から学び、自力で基礎的な環境が作れるようになる。							
<b>【講義概要】</b>							
世界で広く利用されているパブリッククラウドサービスやAWSについての基礎知識を学び、実際にAWSの環境にログインして操作しながら、知識や操作方法を習熟する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	システムの基本概念とクラウドの導入、AWSの基礎						
2	前回の続き、コンピューティングサービスの基礎(EC2)						
3	前回の続き、ネットワークサービスの基礎(VPC)						
4	前回の続き						
5	前回の続き、データベースサービスの基礎(RDS)						
6	前回の続き						
7	総合演習1(基本的な構築の復習)						
8	総合演習1解説、ストレージサービスの基礎(EBS、S3)						
9	前回の続き、セキュリティサービスの基礎(IAM他)						
10	管理サービスの基礎(CloudWatch他)、コンピューティングサービスの応用(Lambda他)						
11	ネットワークサービスの応用(ELB他)						
12	総合演習2(Webシステムの構築)						
13	総合演習2解説、ストレージサービスの応用(EFS他)、データベースサービスの応用(Aurora他)、他						
14	まとめ1						
15	まとめ2						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	
割合 (補足)	80%			20%		100%	
<b>【教員紹介】</b>							
S1erにて、金融系システム基盤開発等に従事し、システムエンジニアとしての一連のシステム開発工程を経験。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
オリジナルテキスト							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Web詳論		榎本 博文	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Webの歴史や標準化の背景、技術の進化を体系的に学び、さらに制作フロー、進行管理、情報設計、法規、品質管理、マーケティングなどWebディレクション検定の出題範囲を幅広く理解することで、検定合格に必要な知識と実務的な視点を身につける。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Webの歴史や標準化、技術の変遷を学ぶと同時に、Webディレクション検定の内容を取り入れ、Web制作現場で必要とされるプロジェクト進行・コミュニケーション・ガイドライン理解を体系的に学ぶ。業界を多角的に理解し、キャリア形成に生かすことを目的とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ガイダンス:授業概要、Web詳論と検定との関係																				
2	インターネットの歴史と基盤技術(TCP/IP、ARPANET)ブラウザ戦争と標準化の重要性(W3C・IETF)																				
3	WWWの誕生と基礎技術(HTML・HTTP・URL)																				
4	法規・ガイドライン(著作権・個人情報保護・アクセシビリティ)																				
5	情報設計とHTML/CSSの進化(検定:情報設計領域)																				
6	UX/UIとJavaScriptの発展(検定:ユーザビリティ領域)																				
7	制作フローと進行管理①:企画・要件定義・設計(検定:進行管理)⇒制作・テスト・公開・運用(検定:品質管理)																				
8	中間試験																				
9	SEOと検索エンジンの発展(検定:マーケティング知識)																				
10	SNS・動画・ECと社会的影響(炎上リスク・ガイドライン遵守)																				
11	モバイルシフトとレスポンス対応(検定:デバイス対応)																				
12	Web業界の構造と職種(ディレクターの役割)																				
13	最新動向と将来展望(AI・Web3・メタバース・セキュリティ)																				
14	まとめと発表:模擬問題・調査発表・総括																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他( )</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>10%</td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	割合	50%		10%	40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計															
割合	50%		10%	40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
Google アナリティクス アカデミー(Google公式サイト)など																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	ロボット制御 I		稲垣 高宏	有	3単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
LEDやセンサ、モーターなどの電子工作パーツを直接つないで制御することにより、ロボット制御の基礎を習得することを目的とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Raspberry Piと電子工作パーツをプログラミング言語Pythonで制御する実習を行う。中間と期末試験は行わない。実習中心とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Raspberry Piとは何か（実習準備）																				
2	Raspberry Pi用のOS のインストール																				
3	LED																				
4	タクトスイッチ																				
5	割り込みとタイマー																				
6	PWM																				
7	ADCインストール																				
8	ADC入力																				
9	ADC確認																				
10	ブザー																				
11	モーター																				
12	マトリックスキーボードとLCD																				
13	リレー																				
14	まとめと復習																				
15	総合演習																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
なし																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ロボット制御Ⅱ		稲垣 高宏	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ロボット制御の基礎となるより実践的な組み込み技術を業界標準なパーツを使って学ぶ。							
【講義概要】							
組み込みのMPUとして、実際に産業界で一番使われているのはSTM32である。その組み込みの実践的な技術を習得する。今回使用するMPUはSTM32L432KCを使う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	STM32L432KCとは						
2	LED						
3	タクトスイッチ（ポーリングと割り込み）						
4	マトリックスキーボード						
5	タイマーの基礎						
6	PWMとLEDの調光						
7	PWMとブザー						
8	ADC基礎(DMAモード)						
9	ADC確認						
10	ADC応用						
11	I2C						
12	I2CとLCD						
13	I2Cとジャイロ						
14	センサの応用1						
15	センサの応用2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。							
【教科書・参考文献】							
独自の資料							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	プロジェクトマネジメントⅠ		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
プロジェクトマネジメントⅠでは、メンバーとして「プロジェクトの全体像」を理解する。 プロジェクトマネジメントⅡでは、プロジェクトマネージャーとして「プロジェクトを動かす力」を理解する。							
<b>【講義概要】</b>							
プロジェクトマネージャー（PM）の役割を理解し、計画立案・スコープ管理・スケジュール管理・コスト管理・リスク管理・品質管理・チームマネジメントなど、PMに求められる知識と判断力を身につける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	プロジェクトとは、プロジェクトライフサイクル						
2	プロジェクトの目的と成果物						
3	ステークホルダーとは						
4	スコープ・タスク・WBS						
5	スケジュール						
6	品質						
7	前半のまとめ						
8	コスト リスク						
9	変更管理 調達						
10	チームビルディング						
11	メンバーの役割						
12	コミュニケーションの基本						
13	問題解決						
14	事例から学ぶプロジェクトの成功と失敗						
15	後半のまとめ						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	25%		50%	25%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 図解即戦力 PMBOK第7版の知識と手法がこれ1冊でしっかりわかる教科書（技術評論社）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	プロジェクトマネジメントⅡ		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
プロジェクトマネジメントⅠでは、メンバーとして「プロジェクトの全体像」を理解する。 プロジェクトマネジメントⅡでは、プロジェクトマネージャーとして「プロジェクトを動かす力」を理解する。							
<b>【講義概要】</b>							
プロジェクトマネージャー（PM）の役割を理解し、PMBOK第7版の内容を、演習を通して学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	プロジェクトマネージャーの役割						
2	12の原理・原則						
3	12の原理・原則						
4	8つのパフォーマンス領域（ステークホルダー）						
5	8つのパフォーマンス領域（チーム）						
6	中間試験						
7	8つのパフォーマンス領域（開発アプローチとライフサイクル）						
8	8つのパフォーマンス領域（開発アプローチとライフサイクル）						
9	8つのパフォーマンス領域（計画）						
10	8つのパフォーマンス領域（プロジェクト作業）						
11	8つのパフォーマンス領域（デリバリー）						
12	8つのパフォーマンス領域（測定）						
13	8つのパフォーマンス領域（不確かさ）						
14	テラーリング						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	25%		50%	25%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 図解即戦力 PMBOK第7版の知識と手法がこれ1冊でしっかりわかる教科書（技術評論社）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	卒業研究ⅠⅡ		平塚 悠生	無	8単位 120時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
<p>フリープログラミングの技術を習得すること。            他人のソースコードを読む技術を習得すること。            他人のソースコードの改善を、上手に促せるコミュニケーション技術を磨くこと。</p>																					
<b>【講義概要】</b>																					
<p>基本的に個別にプログラミングするが、グループごとに互いのプログラムを常に共有し、課題点や改善点を指摘し合う。プログラミングのスキルを高めつつ、第三者の視点を意識しながら品質を上げていく素養を身に付ける。</p>																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	個別制作 - プレゼン：何をやるか共有																				
2	個別制作																				
3	個別制作																				
4	個別制作 - プレゼン：状況報告1																				
5	個別制作																				
6	個別制作																				
7	ここまでの振り返り																				
8	個別制作																				
9	個別制作 - プレゼン：状況報告2																				
10	個別制作																				
11	個別制作																				
12	個別制作																				
13	個別制作 - プレゼン：状況報告3																				
14	個別制作 - プレゼン：成果報告																				
15	ここまでの振り返り																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td></td> <td>40%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。</p>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
<b>【教員紹介】</b>																					
<p>前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。</p>																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
-																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	卒業研究ⅢⅣ		平塚 悠生	無	8単位 120時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
フリープログラミングの技術を習得すること。 他人のソースコードを読む技術を習得すること。 他人のソースコードの改善を、上手に促せるコミュニケーション技術を磨くこと。																					
<b>【講義概要】</b>																					
基本的に個別にプログラミングするが、グループごとに互いのプログラムを常に共有し、課題点や改善点を指摘し合う。プログラミングのスキルを高めつつ、第三者の視点を意識しながら品質を上げていく素養を身に付ける。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	個別制作 - プレゼン：何をやるか共有																				
2	個別制作																				
3	個別制作																				
4	個別制作 - プレゼン：状況報告1																				
5	個別制作																				
6	個別制作																				
7	ここまでの振り返り																				
8	個別制作																				
9	個別制作 - プレゼン：状況報告2																				
10	個別制作																				
11	個別制作																				
12	個別制作																				
13	個別制作 - プレゼン：状況報告3																				
14	個別制作 - プレゼン：成果報告																				
15	ここまでの振り返り																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td></td> <td>40%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
-																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	高度国試対策 I		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
情報処理安全確保支援士試験合格を目標とする。							
<b>【講義概要】</b>							
情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。合格者は授業・定期試験を免除する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	過去問A-1演習						
2	過去問A-1演習						
3	過去問A-1演習						
4	過去問A-1演習						
5	過去問A-2演習						
6	過去問A-2演習						
7	中間試験						
8	過去問B演習						
9	過去問B演習						
10	過去問B演習						
11	過去問B演習						
12	過去問B演習						
13	過去問B演習						
14	過去問B演習						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%			50%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
情報処理安全確保支援士過去問題							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	高度国試対策Ⅱ		平塚 悠生	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
情報処理技術者試験のうち「高度試験」に分類され、ネットワーク技術の専門家を対象とした「ネットワークスペシャリスト試験」午前Ⅱ、午後Ⅰ突破を目標とする							
<b>【講義概要】</b>							
ネットワークスペシャリスト試験に頻出する分野ひとつひとつに焦点をあて、基本となる知識を復習するとともに出題に即した知識の使い方を解説する。過去問の類似問題を用いて演習と知識の定着を図る。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ファイアウォール、UTM、IDS/IPS、WAFについての復習						
2	選択問題演習による知識の確認						
3	午後Ⅰを想定した問題の演習と解説						
4	VRRPについての復習						
5	選択問題演習による知識の確認						
6	午後Ⅰを想定した問題の演習と解説						
7	中間試験						
8	TCP、HTTP、DoS攻撃についての復習						
9	選択問題演習による知識の確認						
10	午後Ⅰを想定した問題の演習と解説						
11	DNSについての復習						
12	選択問題演習による知識の確認						
13	午後Ⅰを想定した問題の演習と解説						
14	メール、無線LAN、ルーティング、IPアドレスについての復習と選択問題による知識の確認						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 定期テストの結果のみで評価する。							
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
翔泳社「ネットワークスペシャリスト」							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2026	4年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅳ		高度情報システム科 担当教員	無
単位・時間数					
2単位 30時間					

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。  
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	春のハイキング
2	
3	
4	学園祭準備（1日目、2日目）
5	
6	
7	学園祭（1日目）
8	
9	
10	学園祭（2日目）、後片付け
11	
12	
13	秋のハイキング
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

## 【教員紹介】

-
---

## 【教科書・参考文献】

-
---